

日本共産党、得票・得票率とも伸ばし4議席へ躍進 橋爪は市議4回目の当選、新たな決意で活動開始

4月24日に投開票された上越市議会議員選挙において、32人の新議員が確定しました。日本共産党は改選前の2議席（4年前の選挙では3議席）から4議席へと躍進しました。

選挙結果を受け、日本共産党橋爪法一後援会の小田順子会長は、「かつてない厳しいたたかいでした。橋爪さん

の人柄、実績を知っている人たちが最後まで頑張ってくださり、当選させてもらいました。共産党の4議席獲得で市議会も変わるはず、ご支援くださいました皆さんに心から感謝申し上げます」との談話を発表しました。

私はこの数ヶ月間、「橋爪法一を囲む会」を板倉、牧、浦川原、安塚、大

島、吉川など市内66箇所にて開催、そこには赤ちゃんを抱えた若いお母さんや93歳のお父さんなど約500人の方から参加していただきました。会場で出されたご要望やご意見は、選挙戦の政策や訴えなどに反映させていただきました。

4年前が多数激戦だったのに比して今回は定数を2人上回るだけという少数激戦となりました。

今回の市議選で日本共産党の4候補は、「市のため込み金146億円を市民の暮らし応援に活用しよう」「安倍政権の暴走は市民生活に直結している。これに立ち向かい、新しい希望ある政治を」と呼びかけ、介護保険料や国保

税などの引き下げ、T P P・消費税増税・原発再稼働・戦争

ストップを公約に掲げて訴えてきました。こうした訴えは、「おまんだの言う通りだ。市民の暮らし最優先の政治をやってもらいたい」など市民みなさんの大きな共感を呼びました。

今回の市議選での日本共産党の得票総数は9840票。前回の8495票を1345票伸ばし、得票率も8・6%から11・4%へと伸ばしました。

7月の参院選へ弾みをつけるものとなりました。

7月の参院選へ弾みをつけるものとなりました。



【チゴユリ】チゴユリ属の多年草。漢字で「稚児百合」と書きます。落葉樹林の少し湿り気のあるところで小さな花を咲かせています。花言葉は「恥ずかしがりや」、私と同じです。吉川区小苗代にて撮影しました。



順位	候補者		今回	前回	増減
1	牧田 正樹	新	4,777		
2	橋爪 法一	前	3,659	3,216	443
3	内山 米六	現	3,337	2,751	586
4	瀧澤 逸男	現	3,286	3,233	53
5	櫻庭 節子	現	3,238	2,720	518
6	大島 洋一	現	3,139	2,988	151
7	小林 和孝	現	3,025	3,302	-277
8	杉田 勝典	現	2,924	2,677	247
9	滝沢 一成	現	2,899	2,270	629
10	武藤 正信	現	2,843	3,269	-426
11	江口 修一	現	2,835	2,224	611
12	石田 裕一	現	2,785	2,706	79
13	山田 忠晴	新	2,769		
14	橋本 洋一	新	2,744		
15	飯塚 義隆	現	2,629	2,558	71
16	本山 正人	新	2,615		
17	田中 聡	現	2,587	2,344	243
18	近藤 彰治	現	2,573	2,284	289
19	平良木哲也	現	2,506	2,603	-97
20	池田 尚江	新	2,462		
21	丸山 章	新	2,411		
22	佐藤 敏	現	2,279	2,280	-1
23	宮崎 政國	現	2,265	2,922	-657
24	栗田 英明	元	2,263	1,776	487
25	波多野一夫	現	2,198	2,174	24
26	永島 義雄	現	2,104	2,509	-405
27	上野 公悦	現	2,041	2,676	-635
28	草間 敏幸	現	1,892	2,313	-421
29	宮川 大樹	新	1,801		
30	橋本 正幸	新	1,634		
31	渡邊 隆	現	1,618	2,428	-810
32	小竹 俊之	現	1,393	864	529
33	鴨井 光夫	現	1,295	2,617	-1,322
34	森田 君夫	新	1,224		

表の中で少し太い文字になっているのは日本共産党公認候補。

はしづめ法一の活動レポート

No.1754 2016.5.1

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四〇二回 母と一緒に

四月下旬のある日、母を山へ連れて行くことにしました。今年は私が忙しいということを知って、親戚の人などいろいろな人が山菜をくださいました。もろうたびに喜ぶ母の姿を見て思っていたのです。「山へ連れて行けばどんなに喜ぶことか」と。

宣伝カーでの活動を早めに切り上げて自宅に戻り、コタツのそばに寝ころんでいた母に、「半入沢（「なかんぞう」または「はんいりざわ」と呼ぶ）の山へ連れて行ってやんかね」と訊くと、すぐに「おー、行く」と答えました。半入沢というのは吉川区の山間部にあつて、わが家の田んぼや山があるとこです。母の返答ぶりから、行きたくてずっと我慢していたことがわかりました。

母が吉川区の山間部へ行くのは昨年の夏、わが家の墓参りに行って以来のことです。母は手ぬぐいでほおつかぶりをし、手には鎌と収穫したものを入る「てご」（手籠のこと）を持って車に乗り込みました。母は途中、景色を見ながら、亡くなった父と一緒に乗って出た時の思い出などを語ってくれました。「懐かしいな」とも言いました。

半入沢まではわが家から車で約一五分です。わが家の田んぼがある場所へ至る農道の途中で車を止め、そこから歩きました。

半入沢の山へ出かけたのは私も春になってから初めてです。遠くの山のほとんどはすでに緑色に覆われていて、ヤマザクラとウワミズクラの白だけが目立っていました。ウグイスとキビタキでしょうか、盛んに鳴いているのが聞こえてきます。

車を止めた場所から農道の高い方を見たとき、「ああ、これじゃ、ウドは終わったな。一、二本でもあればいい方だ」と思いました。すでにカヤやサイキなどが大きくなっていて、道をふさいでいたからです。その代わり、道の両脇や土手には二〇センチから三〇センチほどになったワラビがありました。母も私もワラビを採り始めました。手で折る時の感触が柔らかく、母は何度も「やわらかいなあ」と言いました。

車から一〇〇メートルほど離れた坂道まで行くと、右下に荒れた田んぼが見えます。母は「てご」を道ばたにおいて、少しずつ下って行きました。私はたまたま長靴をはくことを忘れていましたので、農道沿いに上へ上へと進んでいきました。それから一〇分くらいでしようか、ワラビ採りに夢中になったのは。その間、母のことをすっかり忘れてしまっていました。近くに母がいないことに気づいてから、「ぼーちゃ、おまん、どこにいるが」と呼びましたが返事がありません。最初は、どうせ近くにいらっしゃると思うていたのですが、だんだん、心配になってきました。

もう一度、母と一緒にいた場所に戻り、「ぼーちゃ、どこだね」と大きい声で繰り返して呼びかけました。返事はありませんでしたが、直線距離で一〇〇メートルほど離れたところに青い服が少し動いたのが見えました。母です。ホッとしました。母は最近耳が遠くなってきたんですね。だから聞こえなかったのです。

母は荒れた田んぼの中で右に動き、左に動きワラビ採りをしていました。手に持った鎌をうまく活かし、草をどかしつつワラビをさがし、見つけたら、ぽつぽつ、ぽつぽつ折っていく、その動きは山菜採りのベテランの動きです。うまいものだと思います。

三〇分ほどワラビ採りをして、母と私は車のあるところへ戻りました。母の顔を見たら汗びっしょりです。右腕は力に刺され、血が出ていました。母は疲れたのか、「おっ、年取ったな」と言いました。「どうだね、おもしろかったかね」と訊くと、「まだ採りたかった」と答えました。九二歳のベテラン山菜採りはなかなか欲張りです。

参院選新潟選挙区、県内6野党と市民連合などが統一候補擁立

県内6野党（社民党、新社会党、生活の党、共産党、緑の党、民進党）と「市民連合@新潟」「連合新潟」の代表が4月27日、記者会見を行い、参院選新潟選挙区に森ゆうこ

元参院議員を無所属の統一候補として闘うと発表しました。

共通政策は①安保法制廃止②立憲主義の回復（集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を含む）③個人の尊厳を擁護する政治の実現の3つです。

これまで選挙区予定候補としてお世話になってきた日本共産党の西沢博県政策委員長は記者会見で、「全野党がそろったことは歴史的だ。市民の力が野党を動かした。自分は比例代表に

まわるが、森さんの勝利のためにこれまで以上に全力を尽くす」と述べていました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月20日(水)	4月27日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.047	0.060
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.040	0.053
名立分遣所	0.050	0.050

山菜料理を楽しむ政治と暮らしを語る会

恒例の「山菜料理を楽しむ、政治と暮らしを語る会」を今年も開催します。ぜひ誘いあつてご参加ください！申し込みは橋爪または最寄りの赤旗配達員にお願いします。

日時：5月5日(木) 午後1時から3時半まで。

場所：吉川多目的集会場(原之町、吉川体育館脇)

参加費：一人当たり1000円。飲み物、料理持ち込み歓迎

※お酒を飲まれる方は車での参加はしないでください。